

**令和5年度進行管理・評価シート**  
**内子町 歴史的風致維持向上計画（令和元年6月12日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1「計画推進協議会」(法定)の開催等	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1(項目名)	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1-1. 歴史的風致形成建造物等の修理・活用	.....	3
1-2. 八日市護国伝統的建造物群保存地区保存修理事業	.....	4
1-3. 重要文化財内子座修理事業	.....	5
1-4. 歴史的建造物の建物調査等	.....	6
1-5. 伝建地区の防災対策の検討	.....	7
1-6. 伝建地区の地区拡大の検討	.....	8
1-7. 歴史的建築物の保存及び活用に関する地域ルールの作成及び運用	.....	9
1-8. 歴史的建造物と林業との関連施策の検討	.....	10
2-1. 歴史的建造物周辺地区の修景等環境整備	.....	11
2-2. 空き店舗対策の実施	.....	12
3-1. 職人の技術等、担い手育成事業	.....	13
3-2. 伝統行事等の継承の支援	.....	14
3-3. 習慣、風習等の継承及び再現事業	.....	15
4-1. 中世城館跡等、遺跡・文化財調査事業	.....	16
4-2. 博物館歴史展示・講座等の実施	.....	17
4-3. 町蔵資料のデジタルアーカイブ化	.....	18
4-4. 博物館ボランティア(学芸サポーター)育成事業	.....	19
4-5. 歴史的資源の周知・活用	.....	20
5-1. UDC(アーバンデザインセンター)などまちづくり拠点・組織等の整備	.....	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 ○文化財調査、指定について	.....	22
○埋蔵文化財の取扱いについて		
2 ○文化財の修理(整備)について	.....	23
○文化財の保存・活用を行うための施設について		
○文化財の周辺環境の保全について		
○文化財の防災について		
3 ○文化財の保存及び活用の普及・啓発について	.....	24
○文化財行政等の体制について		
○文化財の保存・活用に関わる団体等との連携および支援について		
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	25
⑥その他(効果等)(様式1-6)	.....	26

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	27
-------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 本計画の推進体制については、町並・地域振興課を事務局とし、庁内推進体制を構築するとともに、歴史まちづくり法第11条の規定に基づく「内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会」において計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。また、必要に応じて、本町の都市計画や景観まちづくり、文化財保護等に関する審議会、並びに文化財や歴史的建造物の所有者等と連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会を令和6年3月25日に1回開催。進捗の報告と計画変更の内容を説明し、評価いただいた。  
 今年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、博物館活動や学芸活動で幅のある取り組みができるようになった。課を超えた事務レベルでの情報共有・協議等は必要に応じて円滑に連携できた。ただし、庁内体制の強化・充実を検討課題として残る。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史まちづくり系の充実が、庁内での連携や推進体制強化につながっていると感じられ、今後も実績を重ねつつ、庁内全体の体制整備について検討を継続する。

状況を示す写真や資料等

**内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催**

- 開催日 令和6年3月25日
- 内容
  - ①計画推進の進捗報告及び評価
  - ②同中間報告
  - ③歴史まちづくり計画の変更内容
  - ④今後の事業及びスケジュールについて



内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会  
(令和3年度の様子)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
良好な景観の形成に関する施策との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

歴史まちづくり計画の重点区域との関係性及び連携

- ・都市計画区域内の用途地域が重点区域内に含まれている。
- ・景観まちづくり計画では、町内全域を景観計画区域としている。景観計画重点区域を3カ所設定しており、そのいずれもが歴史まちづくり計画の重点区域内に位置している。景観計画区域への規制に加え建築物・工作物・屋外広告物に対する規制をかけ、重点的な景観整備を進めている。
- ・重点区域も屋外広告物条例の適用範囲であり、設置に対する申請や景観形成に配慮した屋外広告物への誘導等を行っている。
- ・伝建地区も重点区域内に位置し、その周辺環境の保存・整備を一体的に行い、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進していく。
- ・重点区域のうち内子地区と五十崎地区においては農業振興地域に該当しないが、小田地区においては大半が重なっている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

子町景観まちづくり計画区域においては、条例で区域内の行為の届出が必要となっており、当計画に適合しているか、内子町景観まちづくり評価委員会を3回開催し、審査することで、景観コントロールを行った。また、伝統的建造物群保存地区においては、保存計画に従い、建造物等の修理・修景事業を計13件実施し、文化財としての特性の維持と景観整備を行った。都市計画については、審議等は特になかった。(いずれも作成日現在で予定を含み記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観コントロール及び意識啓発等、引き続き実施していく。都市計画については、令和6年度にマスタープラン完成予定。

状況を示す写真や資料等

■内子町景観まちづくり計画重点区域



■景観法第16条第1項の規定に基づく届出及び同条第7項後段の規定に基づく通知が必要となる行為の一覧

1. 届出対象行為

(1) 町全域(景観重点区域を除く)における届出対象行為

対象	基準
建築物	・延べ床面積100㎡以上の建築物の新築、増築、改築、色彩変更 ・高さ1.0m以上の建築物の新築、増築、改築
工作物	・地盤面から上端までの高さが1.0m以上の工作物の設置
開発行為等	・面積500㎡以上の土地区画形質の変更 ・面積500㎡以上の土砂、砂利の採取及び排出 ・面積1000㎡以上の屋外における物品の集積及び貯蔵
屋外広告物※	・屋外広告物条例の規定による許可を要するもの

(2) 景観重点区域における届出対象行為

対象	基準
建築物	・延べ床面積10㎡以上の建築物の新築、増築、改築 ・延べ床面積20㎡以上の建築物の色彩変更
工作物	・地盤面から上端までの高さが2m以上の工作物の設置
開発行為等	・面積200㎡以上の土地区画形質の変更 ・面積200㎡以上の土砂、砂利の採取及び排出 ・面積100㎡以上又は高さ1.5mの屋外における物品の集積及び貯蔵
屋外広告物※	・屋外広告物条例の規定による許可を要するもの

なお、工作物とは、煙突、排気塔、電波塔、高架水槽、冷却塔、彫像、記念碑、鉄柱、観覧車、コースター、コンクリートプラント、アスファルトプラント、石油・ガス等貯蔵処理施設、汚水処理施設、ゴミ処理施設、塙、柵、保管庫及びこれらに類する施設とする。  
※屋外広告物の設置申請は、「内子町屋外広告物条例」が適用される。

■内子町景観まちづくり評価委員会(作成日現在)

- ①開催日：令和5年4月11日(書面開催案内日)  
内容 景観計画区域内における行為届出に関する協議
- ②開催日：令和5年5月15日(書面開催案内日)  
内容 景観計画区域内における行為届出に関する協議
- ③開催日：令和5年7月3日

■令和5年度実績(作成日現在)

- ・景観計画区域内の行為の届出件数：届出26件、通知2件、勧告0件  
※うち重点区域内届出6件
- ・屋外広告物許可申請件数：10件
- ・土塙・板塙等設置奨励補助事業：3件
- ・緑の町づくり補助金(生垣補助)：1件
- ・内子町景観まちづくり賞：0件
- ・伝統的建造物群保存地区修理・修景件数：国庫補助修理3件、国庫補助修景0件  
町単費補助修理6件、町単費補助修景3件、町単費補助防虫1件

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 令和4年度 現在の状況 (Current Status in FY2022). Row 1: 1-1. 歴史的風致形成建造物等の修理・活用. Row 2: 事業期間 令和2年度～令和10年度. Row 3: 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 町単独事業. Row 4: 計画に記載している内容 重点区域内における歴史的風致形成建造物等の活用促進のため、所有者の意向も考慮しつつ周辺環境とともに調査及び事業計画作成を行い、修理・整備を行う。... 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で. Row 5: 進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述). Row 6: 計画どおり進捗している / 計画どおり進捗していない. 来年度から第1工期の工事を開始する。指定管理者制度の活用などにより、運営体制を構築する予定。...

歴史的風致形成建造物「旧森家住宅」整備・活用について

■内子町ビジネスプランコンテスト 高校生プレ大会

- 概要 旧森家住宅をテーマにしたビジネスプランを地元高校生が考えて発表。大学生や事業者が作成の支援を行った。
内容
①キックオフ 令和6年1月22日
②中間報告会 令和6年2月13日
③大会開催日 令和6年3月17日
参加 内子高校、小田分校から5チーム(18人)が参加。

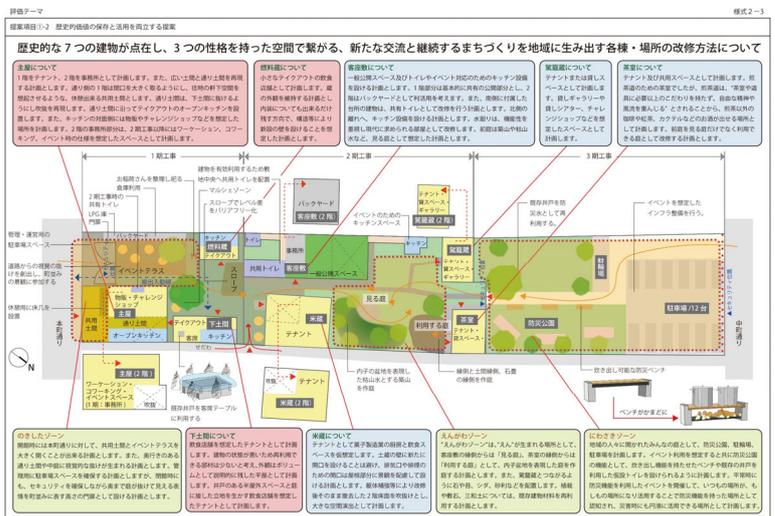


■ひな人形・五月人形の展示

- 時期 令和5年4月、5月
概要 駕籠蔵に収蔵されている人形を、端午の節句あわせて表土間に展示した。

■公募型プロポーザルの実施

- 公募開始 令和5年7月15日～(※参加表明書締切：8月14日)
審査会 令和5年9月15日
参加数 6事業者



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
1-2. 八日市護国伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和57年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国) 重要伝統的建造物群保存地区整備費補助金(県) 町単独事業		
計画に記載している内容	内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区保存計画で特定されている伝統的建造物の修理及びそれ以外の建造物等の修景を行う所有者への支援、町所有の伝統的建造物の修理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年6月21日及び10月25日、伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催し、昨年度の事業実施報告、今年度事業の説明、来年度事業計画について審議いただいた。 令和5年度は国庫補助事業及び県費補助事業による保存修理事業3件、町単独補助による保存修理事業6件、修景事業3件、防虫事業1件を実施し、伝統的建造物の保存及び周辺環境の良好な景観形成を進めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き地域住民(土地・建物所有者)と協力して保存整備に取り組む。		

状況を示す写真や資料等



内子町伝統的建造物群保存地区保存審議会

内子町伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催

- 開催日 令和5年6月21日(水)
- 議事
  - ・令和4年度事業実績について
  - ・令和5年度事業実施について
  - ・令和6年度事業計画について
- 開催日 令和5年10月25日(水)
- 議事
  - ・令和5年度事業実施について
  - ・令和6年度事業計画について

令和5年度修理事例(個人所有:住宅)



修理前



修理後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
1-3. 重要文化財内子座修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国)

計画に記載している内容 重要文化財内子座について、保存活用計画を作成し、耐震化を含む保存修理事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

内子座保存活用検討委員会を1回開催した。委員会では、経過報告を行い、防災及び活用に関する基本設計内容について協議した。保存修理事業については、令和6年4月1日に文化庁からの補助金交付決定を受ける予定で準備を進めた。保存修理事業と同時に実施する予定の防災施設整備事業及び活用に関し、基本設計を行った。令和6年度からの保存修理事業を前に、内子座クロージング事業として、「内子座の明日」と題した講演及びシンポジウムを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 令和6年度から実施予定の保存修理事業について、防災や活用の事業内容とすり合わせをしながら着実に進めていく。保存修理にあたり、文化財への理解を深める機会ととらえ、修理現場や記録映像の公開などに務める。
--	---

状況を示す写真や資料等

第9回内子座保存活用検討委員会

- 開催日 令和6年2月20日
- 議事など
  - (1) 内子座保存修理事業の経過報告
  - (2) 防災施設整備事業について
    - ①屋外消火栓の整備 など
  - (3) 活用事業について
    - ①床暖房設備の導入
    - ②冷暖房設備の充実
    - ③音響照明設備の更新・改善 など

内子座クロージング事業「内子座の明日(あした)」

- 開催日時 令和6年3月10日(日) 13:30～15:30
- 内容
  - (1) 講演「内子座～歌舞伎劇場の到達点～」  
三浦正幸氏(広島大学名誉教授)
  - (2) シンポジウム「内子座の明日」  
徳永高志氏(慶応義塾大学大学院非常勤講師)  
井口梓氏(愛媛大学社会共創学部副学部長)  
三浦正幸氏  
徳田幸治氏(内子町文化創造事業実行委員会委員長)  
大西啓介氏(一般社団法人内子町観光協会理事長)

関連事業

- 内子座見学ツアー 10:30～11:30  
三浦正幸氏とともに内子座を見学

重要文化財内子座防災施設及び活用整備事業  
基本設計業務

- 委託先  
株式会社花岡直樹建築事務所
- 委託内容
  - ・防災施設整備に関する基本設計
    - 火災報知設備
    - 非常放送設備
    - 防犯設備
    - 避雷設備
    - 防災照明設備
    - 消火栓設備 ほか
  - ・活用整備に関する基本設計
    - 冷暖房設備
    - 音響照明設備
    - 舞台設備 ほか



【写真】上段左：内子座保存活用検討委員会 右：見学ツアー  
下段左：防災施設整備のための地盤調査 右：シンポジウム

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
1-4. 歴史的建造物の建物調査等	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 今後の歴史まちづくり推進の基礎となる歴史的建造物等について、重点区域内において建造物の歴史及び特徴等の調査を行う。また文化財指定や登録についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧高橋家住宅について、令和5年6月に意見具申資料を提出、令和6年3月6日に主屋ほか4件が登録有形文化財に登録された。旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)については、令和6年2月に意見具申資料を提出した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

調査対象の物件の洗い出し及び調査体制が課題であり、今後、さらなる情報収集を進め、必要に応じて調査を実施する。

状況を示す写真や資料等

歴史的風致形成建造物候補

旧高橋家住宅(主屋ほか4件)登録有形文化財答申

- 答申日 令和5年11月24日
- 登録基準
  - 主屋・表門・石垣及び土塀：①国土の歴史的景観に寄与しているもの
  - 離れ：②造形の規範となっているもの
  - 井戸：③再現することが容易でないもの



旧高橋家住宅主屋

歴史的風致形成建造物候補

旧河内家住宅 解体に伴う調査

- 調査日 令和5年5月8・9日  
令和5年7月18日
- 調査者 内子町役場職員(建設デザイン課、町並・地域振興課)
- 調査内容 解体予定であるとの連絡を受け、建物内の調査と歴史・民俗資料の調査と引き取り、図面作成ための調査を行った。



解体前の旧河内家住宅

歴史的風致形成建造物候補

旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)主屋ほか2棟登録有形文化財意見具申

- 提出日 令和6年2月2日
- 建物(3棟)
  - ①主屋 ②土蔵 ③離れ



旧佐野家住宅主屋(商いと暮らし博物)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
1-5. 伝建地区の防災対策の検討	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区の総合防災計画に基づき、防火水槽の増設及び消防水利の確保を行う。また、震災等を考慮し保存地区内の複数個所に退避できるスペースや保存地区自主防災組織の物資倉庫等を設ける。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存地区内の清正ひろば(358.10㎡)において、保存地区保存会と保存地区を構成範囲とする八日市自治会自主防災会合同で、地区住民が参加し消防署員の指導の下、防災訓練を実施した。今年度は消火栓を使用した防火訓練を学習し、DVD視聴による防災研修も実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

防火水槽の増設等消防水利の確保が課題であり、実現に向け、地域住民と共に、計画を立案する。防災訓練は定期的実施する。

状況を示す写真や資料等



八日市護国地区町並保存会防災訓練の実施

- 実施日 令和6年1月28日
- 参加者 35人
- 訓練内容
  - ・消火栓を使った消火訓練
  - ・発電機等防災機器の使用方法
  - ・DVD視聴による防災学習

住民参加の消火栓による消火訓練



参加者への訓練操作説明



DVD視聴後に消防職員へ質問時間

評価軸③-6  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
1-6. 伝建地区の地区拡大の検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 伝建地区についての平成21年度の見直し調査からも10年経過し、本計画期間内に選定40周年を迎える。この機会に地区拡大について調査等に基づき検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、伝建地区の地区拡大について特に進展は無かった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

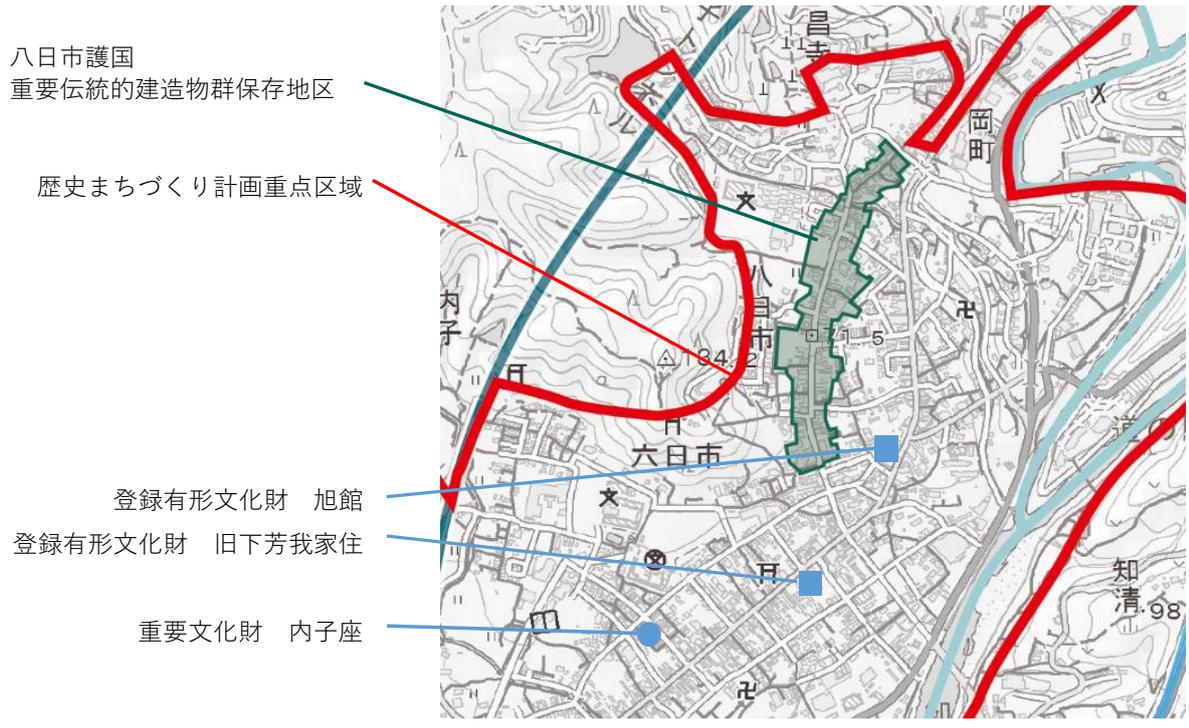
計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない
 拡大のための価値づけが課題であり、引き続き実現の可能性等を調査する。

状況を示す写真や資料等



内子町伝統的建造物群保存地区  
見直し調査報告書

八日市護国重要伝統的建造物群保存地区付近



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
1-7. 歴史的建築物の保存及び活用に関する地域ルールの作成及び運用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建築物の大規模修理等を行う際、その保存すべき意匠等を損なわないよう、安全性の確保と保存の両立を図るため、建築基準法の第3条第1項第3号の適用除外条例(内子町歴史的建築物の保存及び活用に関する条例)を制定し、内子町におけるルール(地域ルール)を作成し、文化財や歴史的風致形成建造物等の円滑な活用と保存を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>○「内子町歴史的建築物の保存及び活用に関する条例」及び運用のためのガイドラインについて進展はなかった。                      ○旧森家住宅・主屋の設計において、香川大学創造工学部の宮本慎宏准教授の研究室に構造検討を依頼し、限界耐力計算による耐震工事を実施する方針。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	制度設計及び運用について現実的な実現が課題であり、愛媛県にも働きかけつつ引き続きこれらについて学習及び協議を行う。		
状況を示す写真や資料等			
※特になし			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
1-8. 歴史的建造物と林業との関連施策の検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国) 重要伝統的建造物群保存地区整備費補助金(県) 町単独事業		
計画に記載している内容	歴史的にもつながりの深い山間部の林業と中心市街地の形成ではあるが、現在、そのつながりが視覚化されたものが乏しい。歴史的建造物の修理時等に、町産材を積極的に利用できる仕組みを検討し、山林資源の町内循環はもとより林業と歴史まちづくりの関係の認識向上を図る。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○歴史的建造物の修理時等に、町産材を積極的に使用するよう請負業者に使用を促している。 ○今年度の保存修理事業(国庫補助事業3件)においては、構造材の修理等はすべて町内の材木店で購入した製品を使用し保存修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		対象となる歴史的建造物の修理をどのように定義づけて町産材を活用するか、また、その供給体制づくりが必要であり、次年度以降にさらに検討を行う。 状況を示す写真や資料等	



上\_柱及び貫の入替後の状況



下\_柱、梁の入替を行った状況

工事件名 上野家修繕工事  
 工事場所

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
2-1. 歴史的建造物周辺地区の修景等環境整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和2年度～令和10年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 町単独事業

計画に記載している内容 重点区域内で、重伝建地区などの歴史的建造物周辺や沿道等のトータルデザインを検討し、外観の修景や街路灯等の環境整備等を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

内子本町商店街における景観改善及び安全性向上を目的に計画している街路灯整備は、無電柱化の進捗と併せて実施することとなったため、工期が遅れることとなった。  
令和5年度は伝建地区と接する工場跡地の小公園整備について整備方法等の意見集約のためワークショップを3回行った。4月には社会実験として地域住民主体によるマルシェを開催し、12月にも小規模なマルシェを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

街路灯については地元の要望もあるためできるだけ早く着工したいが、工事時期の調整が課題となっている。小公園整備は地域の方々とアイデアを出し合いながら基本計画をまとめ、整備に向けて実施設計を作成した。

状況を示す写真や資料等

■小公園対象地



現況



整備イメージ

八日市地区小公園整備に向けたワークショップ

□実施日 令和5年5月8日、5月27日、6月26日

□内容

近隣の関係者や有志等を対象に、公園の実状、子どもの遊び方、立地的な可能性、運営方法等について意見交換したり、試験的な利用について検討したりした。



第2回ワークショップ状況

## 評価軸③-10

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度																																																																
項目		現在の状況																																																																	
2-2. 空き店舗対策の実施		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																																																																	
事業期間	平成30年度～令和10年度																																																																		
支援事業名	町単独事業																																																																		
計画に記載している内容	町内の各地域における商業の活性化を図るため、空き店舗兼住宅又は店舗として使用可能な住宅の所有者に対し、店舗と住宅の共用部分の分離に必要な改修費の一部を補助するなど、空き店舗等の活用を促進を目指す。																																																																		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																																																			
店主の高齢化や後継者不足、店舗の老朽化等により、町内の商店街等では空き店舗が増加傾向にある。このような状況を鑑み平成30年度に「内子町空き店舗等改修支援事業補助金交付要綱」を制定。所有と利用の分離の観点から、空き店舗等を増やさない仕組みづくりを行った。しかしながらこれまで当該制度の実績は2件に留まり利活用は進まない状況であった。そのため、当該制度を廃止し、利活用がより促進される制度「内子町はじめる・つなぐ商工活性化支援事業」を令和4年度に新設し3件の空き店舗等の改修を行った。令和5年度は4件の申請があり空き店舗等の改修等を行う予定である。																																																																			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		令和4年度より既存制度を見直し、事業者がより活用しやすい制度を新設。空き店舗等の改修も含めて利活用が図れている。今後も景観にも配慮しつつ、制度の利用促進に繋げていく。																																																																	
状況を示す写真や資料等																																																																			
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>事例1</td> <td colspan="3">お食事どころ 鼓次郎</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="3">空き店舗を活用して飲食店を開業</td> </tr> <tr> <td>補助金の使途</td> <td colspan="3">・外回り看板、製氷機購入費他</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td colspan="3">329千円</td> </tr> <tr> <td>事例2</td> <td colspan="3">(株)サンサポート</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="3">空き作業場を活用して訪問介護の事務所を開業</td> </tr> <tr> <td>補助金の使途</td> <td colspan="3">・車両購入費他</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td colspan="3">500千円</td> </tr> <tr> <td>事例3</td> <td colspan="3">ENDUP合同会社</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="3">空き家を活用して甘味処を開業(予定)</td> </tr> <tr> <td>補助金の使途</td> <td colspan="3">・改修費、暖炉購入費他(予定)</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td colspan="3">986千円(予定)</td> </tr> <tr> <td>事例4</td> <td colspan="3">写真のあん</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="3">空き店舗を活用して写真スタジオを開業(予定)</td> </tr> <tr> <td>補助金の使途</td> <td colspan="3">・改修費、機材購入費他(予定)</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td colspan="3">1,000千円(予定)</td> </tr> </tbody> </table>				事例1	お食事どころ 鼓次郎			事業内容	空き店舗を活用して飲食店を開業			補助金の使途	・外回り看板、製氷機購入費他			補助額	329千円			事例2	(株)サンサポート			事業内容	空き作業場を活用して訪問介護の事務所を開業			補助金の使途	・車両購入費他			補助額	500千円			事例3	ENDUP合同会社			事業内容	空き家を活用して甘味処を開業(予定)			補助金の使途	・改修費、暖炉購入費他(予定)			補助額	986千円(予定)			事例4	写真のあん			事業内容	空き店舗を活用して写真スタジオを開業(予定)			補助金の使途	・改修費、機材購入費他(予定)			補助額	1,000千円(予定)		
事例1	お食事どころ 鼓次郎																																																																		
事業内容	空き店舗を活用して飲食店を開業																																																																		
補助金の使途	・外回り看板、製氷機購入費他																																																																		
補助額	329千円																																																																		
事例2	(株)サンサポート																																																																		
事業内容	空き作業場を活用して訪問介護の事務所を開業																																																																		
補助金の使途	・車両購入費他																																																																		
補助額	500千円																																																																		
事例3	ENDUP合同会社																																																																		
事業内容	空き家を活用して甘味処を開業(予定)																																																																		
補助金の使途	・改修費、暖炉購入費他(予定)																																																																		
補助額	986千円(予定)																																																																		
事例4	写真のあん																																																																		
事業内容	空き店舗を活用して写真スタジオを開業(予定)																																																																		
補助金の使途	・改修費、機材購入費他(予定)																																																																		
補助額	1,000千円(予定)																																																																		

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
3-1. 職人の技術等、担い手育成事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 伝統産業の知識及び技術修得を志願する者に対して奨励金を交付し、伝統産業の後継者を育成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成17年1月に制定した「内子町の匠づくり奨励金の交付に関する要綱」に基づき、内子町伝統産業の後継者の育成を補助するため、伝統産業の専門的な知識及び技術を修得しようとする者に対し、月額12万円を交付した(最大3年間)。令和2年4月1日からは、対象とする伝統産業に桐下駄製造を追加し、制度を拡充できた。これにより、技術継承が課題として挙げられていた3つの伝統産業において、後継者の育成を支援することができた。

令和5年度奨励金交付者数:2人(大洲和紙製造技術研修者・継続(R5年度で満了)1人、R5年度から新規1人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

大洲和紙製造技術研修者については、指導者のもとで着実に技術を修得しており、伝統技術の貴重な担い手として活躍している。研修者を引き続き支援していくとともに、今後は必要に応じて対象を拡充するなどの検討を行っていきたい。(現在は、大洲和紙製造技術研修者、茶の湯炭製造技術研修者、桐下駄製造技術研修者が対象)

状況を示す写真や資料等



大洲和紙製造技術研修者 紙漉きの様子①



大洲和紙製造技術研修者 紙漉きの様子②

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
3-2. 伝統行事等の継承の支援	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 内子町伝統文化継承団体連絡会を中心に、保存継承団体相互の連携・情報共有を図る体制づくりを進める。また、各伝統行事等の映像記録を行い、保存継承のための資料として整備する。各地域に伝わる伝統芸能の周知啓発やその価値の再認識、次世代への伝承の機会とするとともに、活動の活性化を図ることを目的に「内子町伝統芸能まつり」を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○10回目を迎える内子町伝統芸能まつりは、伝統を継承する若者が活躍する舞台構成とした。また愛媛・大分交流事業と連携し大分県の芸能団を招へいた。そして担い手育成を視野に、コミュニティ・スクールの活動に掛け合い伝統芸能にふれる機会を提供した。

○愛媛県祭り・行事調査(令和3年度～5年度事業)の最終年として、町の調査員と報告書作成に協力した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

担い手不足により、内子町伝統文化継承団体連絡会の加盟団体が減少傾向にあり、伝統芸能まつり出演団体の固定化が課題。町外団体との交流を図りながら、活動継続のための意欲向上や情報収集につなげる。

状況を示す写真や資料等



荻町こども神楽クラブによる神楽



「内子町伝統芸能まつり」出演者集合写



出前講座の様

第10回内子町伝統芸能まつり

- 開催日 令和5年11月26日 □会場 内子座
- 出演 5団体・75人
- [町内] ・内子高等学校郷土芸能部  
 ・大瀬のしゃぎり  
 ・大久保獅子舞保存会  
 ・内子こども狂言くらぶ
- [町外] ・荻町こども神楽クラブ(大分県・竹田市)

□来場者 約200人

地域の伝統芸能の価値を再認識する公演となった。狂言では、町内の立川神楽と連携した新たな舞台を表現。大分県の芸能団は伝統の神楽を舞い、舞台に立つこどもたちと客席とが一体となり伝統芸能を楽しむ機会となった。

愛媛県祭り・行事調査報告書作成協力

集大成となる本年は、県より委嘱された町内の調査員3人と、調査結果をまとめる報告書の作成を行った。

- 調査内容
- ・寺村 山の神火祭り

立川神楽小学3年生に出前授業

- 開催日 令和5年12月6日
- 会場 内子自治センター
- 対象 内子小学校3年生40人
- 出演 立川神楽保存会6人

次世代への継承活動として、内子小学校地域コーディネーターへ働きかけ、内子小学校3年生「昔の暮らしを知る」をテーマに神楽を披露する機会が設けられた。体験も盛り上がった。

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
3-3. 習慣、風習等の継承及び再現事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 現在、過疎化等で地域の伝統的な風習等が衰退しつつある。地域の伝統文化への理解を深め、コミュニティ文化を未来に引き継ぐため、実態調査や歴史の掘り起こしなどを行い、今残っているものの継承や活性化、なくなってしまったものの再現などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 昭和中期まで小田地区の各地に「映画館」があり、多くの人々に親しまれていた。現存するものはほとんどないため、愛媛大学井口先生とゼミ生により、地域のヒアリング等を実施。当時の建物概要や立地、写真などをまとめて小田自治センターで展示した。
- コロナ禍で中断していた「亥の子祭り」が再開される中、「亥の子」や「種子交換」の内容について、バスツアー客や大学生、高校生等に対して地域在住の職員が説明する機会を設けた。
- 途絶えかけた「小田燈籠祭り」が地元有志により実施された。再開に合わせて活動を休止していた和太鼓演奏も、高校生の協力により復活した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
  - 計画どおり進捗していない
- 継続的な事業となるよう他機関の連携等体制づくりが必要。

状況を示す写真や資料等

小田地区の映画館等の調査

- 開催日 令和5年8月31日
- 会場 小田自治センター
- 調査 愛媛大学社会共創学部 井口梓准教授とゼミ生7名
- 内容 昭和中期まで小田地区各所にあった、映画館等の施設をゼミ生が地域住民等に聞き取りし、立地や建物の形状、当時の様子などをまとめた。再現したマップなどを展示し、来場者への説明などをする発表会も行った。



ゼミ生の成果品の一部

小田地区亥の子つきと種子交換の行事伝達

- 会場 本川広瀬神社(恵比寿神社)
- 内容 バスツアー、高校、大学生の小田受入等で、種交換の説明と、亥の子つきの実演を行った。(4回実施)



亥の子祭りお供え物

小田燈籠まつりの復活と、地域芸能の継承

- 開催日 令和5年7月29日(小田燈籠まつり)
- 会場 小田支所前駐車場
- 内容 同実行委員会の解散後、有志が祭りを復活。同時に祭り賑わいの中心となっていた地元和太鼓集団「喜鼓里太鼓」



太鼓演奏の練習風景と祭り当日の様子

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
4-1. 中世城館跡等、遺跡・文化財調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 町内には曾根城跡や龍王城跡などの中世城館跡ほか遺跡等が多数存在すると伝わる。これら中世城館跡について現地調査を行い、縄張り図の作成や城館跡の現状の記録など、発掘調査の実施につなげることを目的に実施する。調査にあたっては専門家の指導を仰ぎ、地元有志を募って調査チームを結成し、住民の学びの場とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○大瀬の成留屋地区に所在する「城の尾城跡」の踏査を行い縄張り図作成、石畳地区に所在する「黒山城跡」の踏査と包蔵地範囲調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

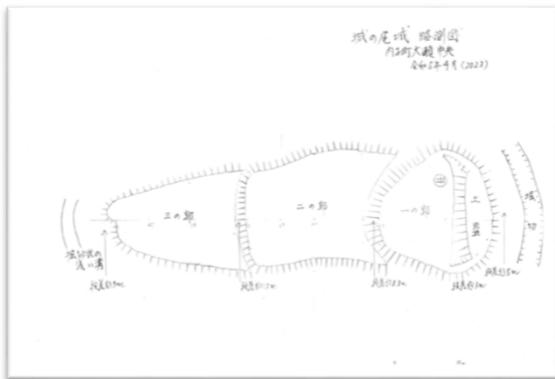
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 町指定史跡活用方法を模索するため、比較データ収集を目的に町内の主要な山城調査を継続して実施する。また、他自治体を参考に試掘調査の実施に向けた準備を行う。  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

埋蔵文化財包蔵地「城の尾城跡」踏査

実施日 令和5年4月10日  
場所 大瀬成留屋  
調査員 自治学習課  
協力 大瀬自治会、大瀬自治センター  
 大瀬自治会における地域づくりの一環で未調査であった「城の尾城跡」の縄張り図を作成した。



社会教育指導員 芳我明彦氏が作成した縄張り

埋蔵文化財包蔵地「黒山城跡」 包蔵地範囲確認調査

実施日 令和6年2月8日  
調査員 内子町教育委員会・伊予市教育委員会  
協力 内子町文化財保護審議会 他  
 埋蔵文化財包蔵地「黒山城跡」について、内子町では昭和60年代以降、調査を行っていなかったため、包蔵地内の遺構残存状況確認を目的に踏査を実施した。



「黒山城跡」へ向けた登山の

全国史跡整備市町村協議会愛媛県支部 南予担当者会

実施日 令和6年2月13日  
場所 小田自治センター他  
 南予担当者会では近隣地域との情報・意見交換を通じて、担当者間の協力体制を強固にすることを目的とする。本年度は、内子町が加入して以降、初めて内子町で開催するに至った。



愛媛大学村上教授による内子町内の遺跡調査

実施日 令和6年3月13日



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
4-2. 博物館歴史展示・講座等の実施		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 町の歴史に関する常設展示を行い内子町の魅力を町内外に伝え、意識啓発等の機会を設ける。また特別企画展を年1回開催し、最新の調査・研究成果の報告を行うとともに関連講座等を実施し、理解を深める。テーマを持った資料館においては、年に1度ミュージアム講座を開催し、継続した学びの場及びその分野の専門家の交流の場とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 木蠟資料館上芳我邸:木蠟・ハゼノキに関する体験を拡充し、町内における理解者・協力者づくりにつとめた。
- 内子町歴史民俗資料館(商いと暮らし博物館): 第一回企画展「内子のくすり広告・看板」と関連講演会、ギャラリートークを開催した。収蔵資料集も刊行するなど、周知と活用を機会を増やした。
- 五十崎凧博物館: 凧や手漉き和紙に関わる体験を実施し、町内における理解者・協力者づくりにつとめた。町外への出張の凧作り体験も実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

報道への連絡やSNSの活用により企画展や講座の来場者が増加。観光客数も徐々に回復しており、より充実した企画展やミュージアム講座等を実施したい。今後は各館で連携をとりながら、効果的なPR方法を学習し、町の魅力を伝える機会を増やす。

状況を示す写真や資料等

【木蠟資料館上芳我邸】

第7回企画展「モクロウ、ミツロウ、パラフィンロウ」

- 会期 令和5年7月22日～9月24日
- 会場 製蠟用具展示棟2階
- 総来場者 2,603人
- 木蠟・ハゼノキワークショップ
  - 4月 木蠟クレヨンづくり 1人
  - 5～6月 ワックスペーパーづくり 2人
  - 7～9月 木蠟でうちわづくり 8人
  - 10月 木蠟クレヨンづくり 3人
  - 11月 ハゼノミ採りとカラサオ打ち 25人
  - 12月 クリスマス飾りづくり 2人
  - 1～2月 お手玉づくり 予定
  - 3月 櫛染め体験 予定



ハゼノミ採り体験実施風景

【五十崎凧博物館】

凧・うちわ作り体験等

- 令和5年度実績
  - 凧110人、うちわ76人
  - 令和5年12月10日、16日 手漉き和紙年賀状作り12人
  - 令和5年10月19日 出張体験(高齢者大学)40人



凧作り体験

【内子町歴史民俗資料館(商いと暮らし博物館)】

内子町歴史民俗資料館第一回企画展

「内子のくすり広告・看板」展

- 会期 令和5年10月7日～12月17日
- 会場 内子町歴史民俗資料館 蔵
- 総来場者 3346人

【関連講座】

「内子町郷土に残るくすり広告・看板」

- 開催日 令和5年11月26日
- 講師 稲垣裕美さん(内藤記念くすり博物館)
- 参加者 23人

月替わり収蔵品展の開催

- 4月 通い徳利 10月 薬看板
- 5月 端午の節句 11月 薬看板
- 6月 さる 1月 正月飾り・酒燗器
- 7月 目薬 2月 懐炉
- 8月 笹祭り 3月 雛人形



「内子のくすり広告・看板」



関連講座の様子



4月 通い徳利



8月 笹祭り

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
4-3. 町蔵資料のデジタルアーカイブ化	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 内子町収蔵資料のうち、整理、目録作成の終了したものから写真撮影を実施し、デジタルアーカイブ化を進める。所蔵資料の内容や所在の公開を目指し、それにより誰もがみられ、活用できる仕組みを整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○デジタルアーカイブ化  
 収蔵資料に大まかな優先順位をつけ、順次スキャン、写真撮影を進めた。  
 ○収蔵資料目録、収蔵環境の見直し  
 常に地域住民に協力を呼びかけ資料を収集した。資料目録、収蔵環境の見直しを進め、関係職員による先進地視察研修を実施。民俗資料の活用方法や収蔵方法について学んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 デジタル化の作業が順調であるため、来年度以降はアーカイブ化に向けて個々の資料の公開の可否、目録の見直しを並行して進めていく必要がある。資料収集も順調であるが、収蔵スペースの確保が大きな課題。解決に向けた協議を進める。

状況を示す写真や資料等

資料のデジタル化

目録整理係、デジタル化係、解読係と関係者間で役割分担し、随時、木蠟資料館収蔵庫等の収蔵品についてスキャンを行っている。

《令和5年度完了分》

- ・六日市曾根家文書(台帳など7点)
- ・大江健三郎氏関係資料(新聞記事、写真、雑誌など55点)

資料の取得及び整理(目録制作)の継続

未整理の資料や寄託資料について、整理・目録作成を継続した。併せて歴史資料の寄贈に関する相談に応じた。令和5年度は内子市街地の複数の旧家より雛人形等民俗資料や江戸～昭和にかけての文書の寄贈を受け、目録の作成や写真撮影をした。

- ・臼杵三島神社文書(規約など106点)
- ・元小田郷土資料館収蔵古文書(田畑反別野取帳など220点)
- ・高橋家文書の解読



臼杵三島神社文書一式を



H6年(1994)愛媛新聞記事

愛媛県との連携・協働調査「ふるさと愛媛学」デジタルアーカイブ化

昭和30年代から40年代の暮らしや産業について、住民からの聞き取り調査を中心とした調査研究に参画。調査は6月から11月で終了した。調査結果は、データベース「えひめの記憶」で公開予定。

- ・第1章 昭和の町並み(大瀬・寺村・町村の町並みと人々の暮らし)
- ・第2章 産業と暮らし(もの作り・農業・鉱業と人々の暮らし)



聞き取り調査の様子

デジタルアーカイブ化に向けた情報収集

先進事例を学びアーカイブ化への方策を検討したく、関係職員と情報共有を図った。好事例の収集を行いながら、当町が目指すべきアーカイブ化の目的と手法を関係機関と見出すことが必要と再認識した。

- ①令和5年8月25日  
総務省主催「デジタルアーカイブフェス2023」オンライン受講
- ②令和5年12月14日  
先進地視察 新居浜市郷土資料室「ふるさとラボ」  
愛媛県博物館等関係職員研修会『博物館DXの先進的な取り組みに学

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
4-4. 博物館ボランティア(学芸サポーター)育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 平成24年度より活動している町内博物館ボランティアグループ・学芸サポーターの活動を拡充させる。現在行っている資料整理作業(古文書解読・整理)だけでなく、ワークショップや伝統産業である和紙・木蠟の生産など様々な興味・関心に合わせた活動を行い、博物館の「学びの場」としての機能を充実させ、より多くの住民の博物館活動への参加を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○上芳我邸で学芸サポーターが月1回の古文書整理活動を実施。他の講座等にも出席し、知識を蓄積している。  
 ○学芸サポーター講座公開ワークショップ「襖の下張り文書はがし」を実施するなど活動を拡大  
 ○5年7月から11月にかけて内子町歴史民俗資料館を拠点とした(内子れきみん班)養成講座を4回開催し各20名以上の受講者を得た。6年1月から月1回の例会を開催し、薬瓶や六日市の歴史、収蔵民具の調査整理をしている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

外部講師による養成講座を開催し、中学1年生から70代までの幅広い参加者を得た。活動を安定して継続させるため、来年度以降も講座の開催や専門家への協力依頼を積極的に行う。

状況を示す写真や資料等

古文書整理活動(上芳我邸)

- 開催日 月に1回開催
- 参加者 延べ82人
- 内容 「上芳我家文書」の整理作業に加え、「上芳我家文書」「森家文書」の解読作業を実施。毎月活動報告を発行。



公開ワークショップのようす

学芸サポーター講座公開ワークショップ

- 内容 「襖の下張り文書はがし」
- 開催日 令和5年11月19日
- 会場 内子自治センター1階 多目的ホール
- 参加者 12人

内子町学芸サポーター(内子れきみん班)養成講座(全4回)

- ①令和5年7月30日 ガイダンス
- ②令和5年8月11日 民俗資料の活かし方  
講師：大本敬久さん(県歴博専門学芸員)  
参加者：23人
- ③令和5年9月10日 「永代録」にみる明治・大正期の内子市街地  
講師：芳我明彦さん(内子町郷土研究会会長)  
参加者：20人
- ④令和5年11月26日 内子町 郷土に残るくすり広告・看板  
講師：稲垣裕美さん(内藤記念くすり博物館学芸員)  
参加者：23人



民俗資料の活かし方の様子

内子町学芸サポーター(内子れきみん班)活動

- ①令和6年1月14日 くすり瓶調査
- ②令和6年3月1日 雛人形展示作業(有志のみ)
- ③令和6年3月3日 民具調査(製糸用具)



例会の様子(薬瓶の調査)

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
4-5. 歴史的資源の周知・活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 観光客等を対象としたまち歩きガイドの充実や外国人観光客等に向けた案内や多言語化などの拡充を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度に引き続き内子町の町並みを案内するガイド業務を行った。令和5年5月から新型コロナウイルスが感染症5類となり観光客数の急激な回復とともに、内子町町並みガイドの会(日本人)での活動が活発に行われた。ガイドの会は月に一度会合を開き、意見交換や研修を行っている。多言語化に関しては、英語版のHPへの誘導や英語表記の看板を設置し対応しているほか、令和5年度は外国語ガイドの会において14組(80名)に対して外国語対応が行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

日本人のガイド事業に関して、高齢化のため事業継承をどのようにしていくかが課題。観光協会と情報を共有し、引き続き啓発を行っていく。

状況を示す写真や資料等



町並ガイドの会によるガイドの様子  
 ガイド実績(町並みガイドの会)

R01年度	210組	3,056人
R02年度	95組	1,573人
R03年度	59組	643人
R04年度	125組	1,565人
R05年度	130組	1,451人(4月～12月)

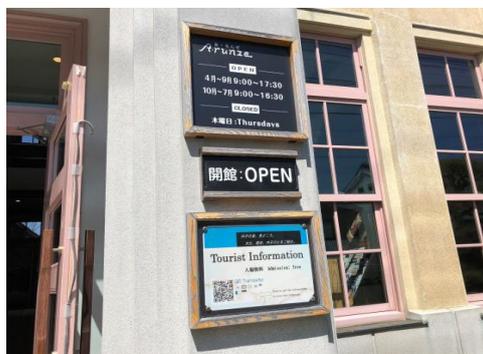


Highlights

新設した英語サイト  
<https://uchikogenic.com/en/>

外国語ガイド実績(外国語ガイドの会)

R05年度	14組	80人(4月～12月)
-------	-----	-------------



英語表記の案内看板

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
5-1. UDC(アーバンデザインセンター)などまちづくり拠点・組織等の整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 歴史まちづくり推進の拠点を設け、景観計画や都市計画の観点からもまちを捉えて歴史まちづくり計画を実践していく。そのためにも、住民が訪れやすい空間を歴史的建造物の活用と合わせて整備する。また大学や専門家との連携も図り、まちづくりや歴史資源の情報などの集積機能を併せ持つ組織の確立を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○サウンディング型市場調査を実施し、旧森家住宅に興味を示している事業者を把握。ビジネスプランコンテストのアドバイザーや審査員としても協力してもらい、管理運営などについて理解と関心を深めてもらった。  
 ○内子町の歴史的風致などの調査をした東大生グループで組織する「内子歴史まちづくりプロジェクト」が中心となり、内子ビジネスプランコンテストを開催した。愛媛大学の学生有志も参加。旧森家住宅を舞台にしたビジネスをテーマに5チーム(18人)の高校生が、約2カ月間の活動を経てそれぞれのビジネスプランを発表した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 旧森家住宅の整備活用と併せて、歴史まちづくりの拠点整備や体制等の協議を行い、  
計画どおり進捗していない 計画的な人員増強についても提案等していく。

状況を示す写真や資料等

■サウンディング型市場調査の実施

□概要 立地的、空間的、歴史的な価値を最大限に生かすため、民間事業者を対象としたヒアリングを行い、施設の今後の維持管理や運営について検討した。

□内容

- ①現地見学・説明会  
令和5年11月30日(参加・2事業者)
- ②サウンディング実施日  
令和5年12月15日～12月20日  
(参加・4事業者)
- ③実施結果の公表 令和5年12月28日～

■内子町ビジネスプランコンテスト

高校生プレ大会

□概要 旧森家住宅をテーマにしたビジネスプランを地元高校生が考えて発表。大学生や事業者が作成の支援を行った。

□内容

- ①キックオフ 令和6年1月22日
  - ②中間報告会 令和6年2月13日
  - ③大会開催日 令和6年3月17日
- 参加 内子高校、小田分校から5チーム(18人)が参加。

内子町ビジネスプランコンテストの様子



東大生が作った模型も活用



キックオフミーティングの様子

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
○文化財調査、指定について ○埋蔵文化財の取扱いについて		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 ・地域の多様な文化財の掘り起こしや調査を進め、価値が認められたものについて指定・登録を検討する。  
 ・町指定天然記念物等にかかる文化財パトロールの体制を整備し、現状把握と適切な保護を行う。  
 ・周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為への対応、出土遺物の適切な保管・管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財パトロール員の報告があり、保存が危ぶまれる天然記念物3件を文化財保護審議員とともに視察した。そのうち「高屋のハゼノキ群落」について、現存するハゼノキの本数を確かめる調査を実施した。また本年度は「旧高橋家住宅」の登録有形文化財登録のために意見具申を行った。  
 ○埋蔵文化財の取扱いについて  
 開発工事にかかる照会対応(公共:5件・33カ所、民間:28件・34カ所)、内1件が町指定史跡「曽根城跡」と一部範囲が重複したため、事前協議を踏まえ、踏査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、町指定文化財及び国登録候補物件の調査を進め、指定・登録を検討する。埋蔵文化財については、包蔵地登録範囲の明確化が課題であることから、順次、包蔵地の確認・調査を進め、開発工事にかかる調査にも対応できるよう体制を整える。

状況を示す写真や資料等

治山事業に伴う城廻「曽根城跡」の踏査

- 実施日：令和5年5月29日
- 調査員：愛媛県文化財保護課
- 立会人：内子町教育委員会、南予地方局
- 概要：土砂崩壊防備保安林に指定された範囲において、落石防止工として防護柵を設置する際に、「曽根城跡」の遺構・遺物に影響を与えないか事前に踏査を行った。その結果、影響は軽微と判断し、必要な手続きは町指定史跡の現状変更届の提出のみとした。



踏査予定地と作業内容の打ち合わせ



現状変更予定地の確認

町指定天然記念物「高屋のハゼノキ群落」現状調査

- 調査日：令和6年1月11日
- 調査員：内子町教育委員会 自治・学習課
- 協力：内子町文化財保護審議員  
町並保存センター職員1名
- 高屋のハゼノキ群落：現所有者に管理状況について話を伺った。今後、土地を手放す可能性があるとのことで、万が一に備え、ハゼノキの残存状況を把握するために調査を行った。残存しているハゼノキにはピンクの目印を付けた。



目印を付けたハゼノキ

「旧高橋家住宅主屋」など計5件が登録有形文化財に

- 登録：令和6年3月6日
- 登録物件：「旧高橋家住宅主屋根」「旧高橋家住宅 離れ」「旧高橋家住宅表門」「旧高橋家住宅石垣及び土塀」「旧高橋家住宅井戸」



「旧高橋家住宅」外観

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
<input type="checkbox"/> 文化財の修理(整備)について <input type="checkbox"/> 文化財の保存・活用を行うための施設について <input type="checkbox"/> 文化財の周辺環境の保全について <input type="checkbox"/> 文化財の防災について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・重要文化財や重伝建地区での保存修理事業の実績を活かし、新たな調査研究成果に基づいて修理を行う。
- ・伝統文化施設における企画展・イベント等の開催、多言語化などの推進に取り組む。
- ・都市計画区域マスタープラン、内子町景観まちづくり計画など連動し、景観に関する住民意識の向上を図りながら文化財とその周辺の一体的な保全や調和を図る。
- ・重要文化財等にかかる防火設備の設置、文化財所有者への啓発、文化財防火デーにおける消防訓練等の実施に、地域住民や消防本部等と協働で取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理(整備)について、町指定名勝「弓削神社の境内」屋根付き橋(太鼓橋)の柱修繕作業を実施した。  
 ※伝建地区及び内子座についてはP4、5参照。  
文化財の保存・活用を行うための施設について※講座や多言語化等はP20参照。  
文化財の周辺環境の保全について、町指定史跡「龍王城跡」の広場に設置されている東屋の床板修繕を実施した。  
 ※P2「2.良好な景観の形成に関する施策との連携」を参照。  
文化財の防災については、文化財防火デーに合わせて各施設にて防災訓練を実施した。  
 ※内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区についてはP7参照

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・修理・整備に関しては歴史的価値を損なわないよう、また所有者等の意向を尊重するとともに意識啓発も図りながら進めていく。 ・ほか3項目についても継続的に実施していく。

状況を示す写真や資料等

石畳地区「弓削神社」屋根付き橋修繕作業

屋根付き橋を支える柱3か所6本のうち、境内側の2本を取り換えた。これまでの伝統に則り、材料は石畳地区の山に自生していた栗の木を利用し、主となる作業を氏子で行った。  
実施期間：令和5年11月23日～令和5年12月19日  
作業員：弓削神社氏子



柱の入れ替え作業

町指定史跡「龍王城跡」東屋床板修繕

「龍王城跡」に設置されている東屋の床板が一部腐っていたため、利用者の安全を確保することを目的に修繕を行った。



修繕後の床

文化財等の防災訓練

1月26日が文化財防火デーであり、町内各施設で訓練を実施し、内子消防署署員から主に以下の訓練指導を受けた。

- ・火事を想定した通報訓練。
- ・来館者の避難誘導や消火器の取り扱い訓練。
- ・地震発生時の対応について確認し、助言を得た。

【内子座】  
実施日/参加者：令和6年1月22日/10人  
【木燭資料館上芳我邸】  
実施日/参加者：令和6年1月26日/4人



内子座での消火訓練

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
○文化財の保存及び活用の普及・啓発について ○文化財行政等の体制について ○文化財の保存・活用に関わる団体等との連携および支援について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・展示施設における企画展・イベント等の開催、学芸サポーターの育成、郷土学習の充実などに取り組む。
- ・文化財担当部局のほか、まちづくり・観光・都市計画部門等を含めた体制の見直しと連携を図り、文化財の保存と活用を推進する。
- ・文化財や伝統行事の保存継承に取り組む団体等に対し、必要な情報や発表の場の提供、担い手育成の支援などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の保存及び活用の普及・啓発について

- ・地域史の充実化を図るため、令和2年度に開講したふるさと学のスメ(講座3回)を継続して実施。
- ・内子中学校3年生の郷土学習の一環として、今年度も蠟搾り体験学習を実施した。

○文化財行政等の体制については、組織的な変更はない。関連する職員間で研修及び情報共有の機会を設けている。

○文化財の保存・活用に関わる団体等との連携および支援は、企画段階で連携を図り支援につながる事業展開を試みた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・普及・啓発は、現体制では人員不足が挙げられる。限られた人員で連携して進めていくが、全体的な体制整備と併せて、計画的な人員増強について提案等していく。 ・子どもたち対象の学習会や体験などの機会は貴重であり、今後も推進していきたい。 ・関係団体との連携は今後も継続していく。

状況を示す写真や資料等

令和5年度 ふるさと学のスメ

■第1回 令和5年11月10日 23人受講  
 講師：愛媛県美術館  
 主任学芸員 喜安嶺氏  
 演題：内子/五十崎に生まれた  
 洋画家中川八郎をめぐって



現地解説の光景

■第2回 令和5年12月23日 9人受講  
講師：愛媛県歴史文化博物館  
 専門学芸員 大本 敬久氏  
演題：内子・昔のくらしと伝統行事  
 - 調べ方とまとめ方 -



令和5年度パンフレット

■第3回 令和6年1月27日 23人受講  
講師：戦乱の空間編集会 日和佐宣正氏  
演題：城跡の見方 - 居倍野城の現地説明会 -

内子中学校蠟搾り体験学習

実施日：令和5年6月15日、16日  
協力：八日市護国地区町並保存会  
 有志6人  
参加：内子中学校3年生62人  
内容：地域産業の歴史を学ぶため、昔ながらの方法で木蠟を搾る体験等の学習を行った。



内子小学校3年生「昔のくらし」

実施日：①令和6年1月15日、25日  
 ②令和6年2月15日  
参加：内子小学校3年生 41人  
内容  
 ①歴史民俗資料館の建物や民具を使って学習。ランプや 灯明、和蠟燭であかりの移り変わりを体験。  
 ②内子座で火鉢を使った昔の冬の観劇体験を行う。併せて、舞台での発表と裏方を体験



内子れきみんであそぼ

■Vol.3 昔のくらしの謎解き探検  
実施日：令和5年8月23日  
協力：内子町図書館  
参加：町内小学生10人  
内容：夏にちなんだ民具を使った謎解き探検と

■(拡大版)内子の町並みであそぼ  
 昔のくらしとかまど体験  
実施日：令和5年3月26日  
協力：内子町図書館  
参加：町内小学生10人程度  
内容：簡易かまどを使った炊飯と昔



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		令和5年度
風に乗れ 大風勇壮に		掲載紙等 愛媛新聞
花嫁写真 刻む思いで(体験プログラムはなよめ)	令和5年5月30日	愛媛新聞
令和8年度版中学校用教科書「新編 新しい数学」(本芳我家住宅外観)	令和5年6月26日	東京書籍
五十崎の花火再び「伝統絶やさない」再起へ若手奔走	令和5年8月8日	愛媛新聞
狂言くらぶ発足10年 内子座で記念公演	令和5年10月17日	愛媛新聞
商いの歴史ににじむ看板 内子で企画展	令和5年10月18日	愛媛新聞
「内子のくすり広告・看板」	令和5年11月10日	NHK
芝居小屋旭館魅力伝えたい(映画祭)	令和5年11月11日	愛媛新聞
今月のEVENT「内子のくすり広告・看板」	令和5年11月20日	タウン情報まつやま12月号
「神保家住宅」保存活用計画書(上芳我家住宅耐震補強)	令和6年11月29日	群馬県中之条町教育委員会
くりむクイズ ミラクル9「日本縦断トラベルQ」	令和5年1月10日	テレビ朝日
スーパーJチャンネルえひめ 旧高橋家住宅 登録有形文化財答申	令和5年11月24日	テレビ朝日
旧高橋家住宅 登録有形文化財答申	令和5年11月24日	NHK
旧高橋家住宅(内子)を登録有形文化財に答申	令和5年11月25日	愛媛新聞
特集「掌から生まれる灯り～手仕事を訪ねる二つの旅～」	令和5年12月1日	ライト&ライブ
旧高橋家住宅 国文化財に	令和6年1月11日	読売新聞
坂の上のラジオ「高橋龍太郎」(ゲスト:風雅)	令和6年1月27日	南海放送ラジオ
【愛媛】山間部に集中する謎の橋	令和6年1月30日	CBCテレビ「道との遭遇」
田んぼと数軒の家屋しかないのになぜ…!? 全国的に珍しい「屋根付き橋」が愛媛の山間に“集中建設”された“納得の理由”	令和6年2月4日	文春オンライン
移住者拠点 どの書店 感謝の閉幕	令和6年2月15日	愛媛新聞
「内子の魅力語り合う 保存修理工事控えシンポ(内子座の明日)」	令和6年3月13日	愛媛新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に基づく事業に係る報道5件、歴史まちづくりを推進・実践することで形成される町並み保存地区などの良好な景観や歴史的資源を紹介・案内する報道10件、その他、伝統産業・行事、文化財等を活用しての取り組み等に関する報道7件を掲載した。活動自粛が緩和され、少しずつ人の動きが増えてきたので、上記以外にも報道があった。伝統産業や行事、文化財等を活用した取り組みは規模は異なるが多様な形態で増えている。それらが報道されることで人の交流やネットワークの広がりがこれまで以上に見られるようになった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

報道の効果は大きく、内外ともにまちの魅力や価値を広められる。報道機関への取材依頼等の周知を積極的に行うことで、より効果的は情報発信の機会としたい。

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくりを積み重ね、それら資源を活用した取り組みにより報道される機会の多い事例



八日市護国の町並み保存地区



内子座



石畳の宿

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

内子座大規模改修に向けた学芸的な調査・普及活動

計画に記載している内容  
歴史資源を活かしたまちづくりを進めるフィールドの拡充、職人やまちづくりの担い手育成、交流人口の増等を目指す。  
専門職の配置や大学などとの連携等、体制の充実を図りつつ、基礎となる歴史的資源などの調査を進める。  
住民や地元企業、大学や専門家などと連携し、まちづくりに関する資料や職人技術・歴史資料など集積機能を併せ持つ組織の確立や、それらによる人材育成、地域住民の意思醸成を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○内子座の大規模改修を前に、昭和60年の改修以後の内子座を舞台とした町民有志による文化活動のあゆみを伝えるため、令和4年に寄贈を受けた「内子座社中ふれだいいこ」の活動に関するポスターの展示を行った。

○内子町内にはかつて、内子座以外にも多くの劇場が存在した。その実態は不明であるところが多く、令和4～5年度にかけて全域を調査し、報告書にまとめることを計画している。令和4年度は愛媛大学社会共創学部の井口梓准教授のゼミに協力を仰ぎ、小田地区の調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

内子座の改修中、改修後に向けて計画的に関係資料の保存・調査やヒアリング調査や普及活動を行う必要があるが、人員不足が大きな課題である。  
引き続き大学や関係職員間で連携をとり、進めていきたい。

状況を示す写真や資料等

特別展「ポスターで振り返る内子座社中「ふれだいいこ」のあゆみ

- 実施日 令和5年8月4日～30日
- 会場 内子町ビジターセンター2階、内子座
- 総来場者 約500人



「内子町 劇場の記憶」小田地区の調査

- 事前調査：7月29日(土) 内子地区・五十崎地区巡検
- 調査期間：8月28日(月)～31日(木)
- 調査者：愛媛大学社会共創学部 井口梓准教授  
及びゼミ生8名
- 内容：小田地区にかつて存在した劇場6軒について、10名の対象者にヒアリングを行い、現地調査を行った。最終日には内容をまとめた模造紙を小田自治センターロビーに展示し、関係者、地域住民への成果報告を行った。

